

口説く

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

男1

男2

踊ったりする方のクラブの隅の方。痛い格好の男二人がいる。

男2 知らない人に声をかけるときにだけだよ。

男1 …脱がないと駄目か？

男2 うん。下だけでいいんだけど。

男1 下かあ、下かあ。でもみんなこっちを見て

ないと思うぞ。見張ってやるから、一気に

に脱いで急いで心の準備すればいいんじゃないか？

男2 そうだね。

周囲を確認する男1。

男1 今、誰もこっち見てないぞ。

男2 うん…。

躊躇う男2。

男1 どうした？

男2 脱ぐ心の準備が。

男1 ええ？ 心の準備をするのに脱がなきゃいけないのに、脱ぐ心の準備ができないのか？

男2 そういう場合はどうするの？

男1 いつもは度胸試しに、知らない人に声をかけてる。

男1 鶏が先か卵が先かみたいになってるよ。

男2 鶏が先だよ！

男1 知ってるよ！

男1 じゃあ見られそうになったら、合図するか

ら。

男2 よし、それでいこう。

ズボンを脱ぐ男2。見張る男1。

男1 やばい、気づかれるー！ やばい、気づかれるー！

男1、手を思いつき叩く。慌ててズボンを後ろ前に履こうとする男2。

男2 何！

男1 気づかれそうだった！

男2 今ので余計に気づかれるよ！

男1 言ってることがわからないけど！

男2 あの子に気づかれたらお釈迦だよ！

男1 何やってんだよ、逆逆。

男2 逆？ お釈迦様に気づかれたらあの子だよ！

男1 違うよ、ズボン！

男2 うひゃー！

男2、ズボンを脱いで裏返そうとする。

男1 違うって、裏返し！

男2 きつくて入らないよ！

男1 さっき履いてただろ！

男2 うん。あれ？

男1 いい子いるか？

男2 あそこの二人。

男1 あれか。

男2 どうだ？

男1 いいねえ。俺達の未来は。

男2 明るいぞ。

男1 よし、行くぞ。

男2 何しに？

男1 何しにって、声かけるんだよ。

男2 やばいよ。ナンパなんてしたことないから、

まだ心の準備が。

男1 そうか。どれくらいでできる？

男2 ここじゃまずいよ。

男1 まずいって何で？

男2 ここで服脱ぐと変だと思われる。

男1 心の準備するのにいつも服脱いでるのか？

男1 靴脱げって。

男2 そっか。

男1 何で鶏が先なの？

男2 ごめん、今聞かないで。

男2、ズボンを履く。

男1 取りあえず、あの子には気づかれなかった

みたいだな。

男2 うん。大成功だ。

男1 勝負パンツか。

男2 毎日が勝負パンツだ。

男1 名言だ。倭万智に聞かせてやりたかったよ。

男2 生きてたらな。

男1 ああ。生きてたら。で、心の準備できたか？

男2 あ。

男1 脱いだ意味ないじゃないか！

男2 心の準備しないで脱いだから、脱ぐことで

いっぱいいっぱいになってたんだよ！

男1 非常にややこしいよ！ もう一回は、流石

に無理だぞ。

男2 いいよ、何とかするから。

男1 何とかできるのかよ！

問。

男1 どうだ？

男2 緊張する。

男1 人を四回舐めると緊張しなくなるみたいだ

ぞ。

男2 人を？

男1 先生に聞いたことがある。

男2 わかった。ちよっと待ってて。

男2退場。しばらくして頬を押さえて戻って来る。

男2 痛えー。

男1 無理か。

男2 いや、何とか舐めてきた。

男1 でかした！

男2 おう！

男1 俺達の未来は。

男2 明るいぞ。

男1 じゃあ、もう行けるな。

男2 駄目だ、効果がない。

男1 舐めたのにか？

男2 うん。おまえの先生は凄く嘘つきだ。

男1 ごめん。俺の先生凄く嘘つきだ。

男2 何の先生だ？

男1 歴史。

男2 そうか。でも行くしかないな。行くよ。

男1 待って。

男2 何？

男1 今まで先生から教わったことが全部嘘だと

男2 思うと、凄く不安になってきた。

男1 わかった。後で確かめよう。

男1 今じゃなきや駄目だ。

男2 今？ だけど。

男1 今確かめないと、他に何も手につかない。

男2 わかった。問題集持ってるから確かめよう。

男1 すまない。

男2、歴史の問題集を取り出す。

男2 問題。永禄三年、今川軍に対して奇襲を仕

掛けた信長が出陣前に舞ったといわれる幸

若舞の演目は？

男1 敦盛。

男2 問題。山崎の戦いで、光秀が籠城したのは

何城？

男1 勝竜寺城。

男2 問題。秀吉が五大老宛てにしたためた最後

の手紙の中にある「ちくぜん」とは誰のこ

とか？

男1 前田利家。

男2、解答を確認する。

男1 どうだ。

男2 全部合ってる。

男1 ということは？

男2 この本も出鱈目ってことか！

男1 畜生！ うおおおお！

男2 俺達は嘘の歴史を教えられてきたんだ！

男1 誰の陰謀だ！

男2 そりゃ、支配者だよ。

男1 支配者かあ。

男2 くそ、みのもんため！

男1 俺達、みのもんに支配されてたのか？

男2 誰だと思ったんだ。

男1 もう時間がないぞ。

男2 よし。

男1 何て声かける？

男2 ハンカチ落しましたよって言う。

男1 落としてないぞ。

男2 俺が落とす。

男1 おまえが？

男2 みんな自分がどんなハンカチがいちいち覚えてないだろう。

男1 頭いいな。

男2 おう。

男1 その後は？

男2 そこまでいったら後はプロポーズするだけだろ。

男1 よし！ それでいこう！

男2 おう！

男1 何？

男2 ハンカチ。

男1 持ってないよ。

男2 何で？ 何で持ってないんだよ。さっき持ってただろ。

男1 さっきは持ってた。

男2 今は？

男1 持っていない。

男2 何で？

男1 何で言ったわけ？ うんこする部屋。

男2 トイレか。

男1 うん。トイレに流した。

男2 何で？

男1 紙がなかった。

男2 ハンカチで拭いたのか？

男1 うん。

男2 ハンカチ、トイレに流したら駄目だろ。

男1 仕方なかったんだよ。

男2 詰まったらどうするんだよ。

男1 でも。

男2 店に迷惑かけたら駄目だろ。

男1 そうだけど。

男2 警察呼ばれたらどうするんだよ。

男1 俺のハンカチってわからないから。

男2 警察が調べたらすぐばれるぞ。

男1 大量生産の安物だよ。特定できるわけないっ

て。

男2 ばか。ハンカチについた物を鑑定されたら

終わりだ。

男1 そっか。ああ、だんだん後悔してきた。そ

こまでして拭くことなかったよな。

男2、トイレへ向かう。

男1 何処へ？

男2 まだ、詰まってるかも知れないから。

男1 あのハンカチ使うのか？

男2 他にないんだから仕方ないだろ。洗えば何

とかなるだろ。

男1 でも臭いが。

男2 消臭剤持っていないか？

男1 今日は持っていない。

男2 俺もない。

男1 コンビニに売ってるんじゃないかな。隣に

あったけど。

男2 よし。じゃあ、買って来て。俺、ハンカチ取っ

て来るから。

男1 わかった。俺達の未来は。

男2 明るいぞ。

二人、別々の方向へ走り去る。終わり。